



MESSAGE FROM THE PRINCIPAL'S OFFICE

校長室だより 3月号

河内長野市立高向小学校

令和6年2月29日



2月は気温の変化が激しく、4月並みの暖かさと真冬の寒さが交互に訪れました。心身ともに体調管理の難しい月で、インフルエンザの他にも溶連菌や胃腸の風邪も同時に流行り、子どもたちの体調が心配される日々でした。3月を目前に校舎に活気がもどり、気づけば卒業式までの授業日数は残すところ12日。修了式までは14日。進級進学の時に向けてもう一歩、さらに一歩と自分の力を伸ばしてほしいと思っています。

1年間の成長を感じる「新一年生の体験入学」 ～相手のために、自分のために～

2月9日に、新1年生の体験入学を実施しました。受付から1・4年生の子どもたちが活躍してくれ、園児を1年生の教室まで案内したり、担任の先生の話聞いて席に座らせてくれたりしていました。人との関わりの中で誰かのお世話をし助ける経験は、相手のためだけでなく自分自身が「人の役に立っている」と、



福笑い／輪投げ／魚釣り／折り紙／けん玉コーナーなどで、1年生が丁寧に説明してくれています。4年生のアドバイスでスムーズです。

自分の存在感を実感できるものです。交流活動では、「自分の力でできた」と感じられる活躍場面があり、自ずと自己肯定感や自尊感情も育まれます。「さすが、頼もしい子どもたち」と感じたのは、保護者の方と離れて少し不安そうな表情の園児に自分から声をかけている1年生の様子を見た時です。また、それをサポートする4年生も、さりげなく力を貸すといった感じで学年に応じた関わり方ができていて、その成長ぶりに感心させられました。

多くの方に支えられる高向小の学び ～1つの道を知ること、世の中の入り口に立つ～



3学期も高向小学校の子どもたちのために、学校運営協議会から呼びかけていただいた学習ボランティアの方やゲストティーチャーの方が授業に参画してくださいました。3年生の社会科の学習では、高向・滝畑両駐在所の警察官のお二人がたくさん質問に答えてくださって、貴重な機会に子どもたちのメモの手も止まることがありませんでした。4年生では、寺が池の学習の締めくくりとして水落の水利組合の方をゲストティーチャーとしてお迎えして、お話を聞かせていただきました。どちらのお話でも、その仕事ならではの苦労や工夫・願いがあって世の中が成り立っていることを感じてくれたように思います。

また版画の授業では、彫刻刀の学習支援に保護者や学校運営協議会のメンバー、地域の方々にご協力をいただきました。毎回上手になっていくので出来上がりが楽しみです。みなさまご協力ありがとうございました。

お知らせ ～ 令和6年度の高向小学校年間行事計画を見直します ～

○マラソン大会を3学期から2学期実施にします。

→インフルエンザなどの流行期を避け、12月にマラソン大会を実施します。2学期の体力づくりの縄跳びと時期を入れ替えます。学年閉鎖などで大会が中止になるリスクを減らし、自分の目標に向けてがんばる子どもたちの活躍・安心につながります。

○2学期の個人懇談を12月から11月に早めます。

→懇談会でお話いただいたことを間を置かずにお子さまの指導に生かす期間をとることができます。

保護者の方との連携を確かにして学習面と生活面の両輪で成長を支えます。

○11月の学習参観で実施していた行事は3学期のフリー参観に組み入れます。

→11月に個人懇談会を実施するため11月の学習参観は12月マラソン大会参観となります。11月の参観日に当てていた6年生の文化財解説などはフリー参観時に計画します。同じくPTA委員選出の4年生学級懇談会もフリー参観での「10才ありがとうの会」と同日に行います。

保護者の方が学校に来ていただく機会と参観内容を減らさず、時期が重ならないようにしています。3月中旬に新年度の年間行事予定表をお配りしたいと考えています。ご理解をご協力をよろしくお願いいたします。